

# サミット前に 「四極賢人会議」

これは昨年のベルサイユ・サミットが意思疎通不足で失敗に終わったことへの反省から生まれたもの。昨年九月、ワシントンでCISIS(シィ

## 財界人、議員らで構成

「シタウン大学戦略国際研究センター」主催の四極会議が開かれた際、大来、ブロック、ダビニオン、ラムレイのトはポトランドやアフガン紛争に絡む対峙制をめぐり、

米国と欧州の足並みがそろわず「西側同盟に瓦解の危機」とさえ言われた。四極会議の音頭をとった大来佐武郎、ブロック氏は八〇年代を通じての問題である世界的経済不況の進行と深刻な東西対立に

対応するため「西側がこのように反目し、対立しているのだから」と、西側最高首脳が一堂に会すサミットの周到な準備を提唱。それには各国の官僚機構だけでは不十分と判断、民間人と政治家を加えた新しい賢人会議を四極でそれぞれ作り、相互の意思疎通と意見調整を主眼にサミットへの対応を作成し、それぞれの自国首脳に提出するこ

五月末の先進国首脳会議(ウィリアムズバトク・サミット)で西側の結束を確実なものとするため、これに先立ち、民間人を含めた日、米、欧、カナダによる「四極賢人会議」(仮称)を設置する構想が固まった。三月四日に日本会議代表・大来佐武郎元外相が設立総会を開くのをはじめ、米(代表・ブロック米連商代表)、欧州(代表・ダビニオンEC副委員長)、カナダ(代表・ラムレイ貿易相)の各会議を設立して、三月十八日にはワシントンで日米両会議間の協議を行う。四月十五日までに貿易の国際金融の国内政策の世界経済に

対する影響の安全保障の政策決定と協調——の五テーマについて各会議で報告書作成、四極会議同士で交換、各会議の報告書審議を経て五月初旬に四極賢人会議(合同)をワシントンで開催する段取りになっている。各会議はこれに基づいてそれぞれの見解をまとめ、各国政府首脳に提言する。



大来元外相

日本会議は大来代表のほか豊田章一郎(トヨタ自動車社長)、細見卓(海外経済協力基金総裁)、猪本正道(平和安保研究所理事長)、宮崎勇(大和証券経済研究所理事長)、吉野文六(経団連参事・元西独大使)の各氏らが決まっています。政治家と官僚は含まず懇談会を設け意見を吸収する。米国会議は官僚、政治家、財界人のトップを集めており、ブロック代表のほかアブシャイヤールCISIS所長、フランニガン、ストフウスの元通商代表、ウォリス国務次官、マクナマー財務次官、オルマー商務次官、ダンフォース、

# 日・米・欧・カナダで 「貿易」「安保」で政府に提言

外務省も「官僚組織にできない発想や直言が期待できる」と全面協力の構えだ。



発行所 東京都千代田区一ツ橋 1-1-1 (〒100)  
毎日新聞東京本社  
電話 (03) 212-0321  
郵便振替口座 東京 8-2800番  
© 毎日新聞社 1983

なんでも使える  
**日住金ローン**  
日本住宅金融  
全国28店舗  
東京(03)5041031

けさひらく言葉  
7塚本邦雄  
明治の都市計画のテーマは二五〇年かけた封建都市江戸を越えることにあった。  
藤森照信「明治の東京計画」  
江戸は、ヨーロッパの中世都市に勝るとも劣らぬ、都市の名作であった。この名作がその主人を失い、巨大な抜けがらとして横たわったところから明治が始まり、新しい内容を満たすべき「東京」に変身させるために、新時代の勢力は勇敢にいとんだ。だが東京は江戸を越えただろうか。